

# 令和8年度 松本市立梓川小学校グランドデザイン

## 大地に立つ教育

### 児童の姿

- 明るく元気で、素直な子が多い。
- 新しいことに興味関心を持てる子が多い。
- 言われたことをきちんとできる子が多い。
- 男女の仲が良く、誰でも受け入れられる寛容な子が多い。

### 学校長の願い

- 「やわらかな空気」が流れている学校に一人ひとりを認め、共感し、やさしい声をかけ合う子どもたち
- 「挑戦する意欲」に満ちあふれている学校にどんなことにも立ち向かい、自分をもっと高める子どもたち目標を定め、すすんでねばり強く努力する子どもたち

### 学校教育目標

## 梓川の大地に根ざして 豊かに自立する子どもの育成

### <本年度の指導の重点> 自分からうごきだそう あずさっ子!

#### よく考え、すすんで学ぶ子どもに

「やってみたい」「こうしたい」と思う子どもになろう!

#### かしこく

- ① 自ら興味や問題意識をもち、見通しを立てて学習に意欲的に取り組む子ども  
→ 子どもの問いや願いを醸成して学習を立ちあげる。  
「学習問題」「見通し」「まとめ」などの掲示カードの活用と授業の構造化を図る。
- ② 友だちの考えや意見を自分の考えと比べながら真剣に聴く子ども  
→ よい聴き方を習慣化させる。
- ③ 「対話」を基本にして友だちと考えを交換しながら学びを深める子ども  
→ 課題解決的な学習を展開し、ペア・グループなどの形態を工夫した話し合う活動をさせる。
- ④ 学習をふり返り、自己の成長を実感しながら更なる学習への期待感や意欲をもつ子ども  
→ ふり返りや見きわめの時間を大切に、学習のまとめと自分の考えの整理をさせる。

#### 思いやりがあり、助け合う子どもに

「ごめんね」「ありがとう」が言える子どもになろう!

#### なかよく

- ① 自分のよさを認め、友だちのよさをすすんで見つける子ども  
→ 一人ひとりのがんばりやよさを賞賛し、自分のよさとして自覚させる。  
友だちのよさを認め合う機会を増やし、安心して過ごせる学級づくりを行う。
- ② 友だちや周りの人にあたかな気持ちでかわり、自分とすすんでつながろうとする子ども  
→ 毎日のあいさつを習慣化する。  
学級・学年の交流、異年齢学年との交流、などを積極的に進める。  
(児童会活動や総合的な学習での交流活動など)
- ③ 地域の方とともに活動し、地域の一員として生きていこうとする子ども  
→ 梓川の地域での自然体験や社会体験の活動を積極的に進める。(生活科や総合的な学習の時間、或いは学級の中核的な活動への位置づけ)

#### 体をきたえ、たくましい子どもに

「あきらめない」「さいごまでがんばる」子どもになろう!

#### たくましく

- ① 自分の決意で始めたことをゴールめざして努力し続ける子ども  
→ 努力や取り組みを常に応援し、最後までがんばれたことを評価して自分の成長を実感させる。  
つまづきや困り感に共感し、傍らに寄り添いながら支援する。
- ② 自分の健康や体力をすすんで高めようとする子ども  
→ 継続的な運動経験にねばり強く取り組ませる。  
体育的行事の内容や方法を見直し工夫しながら運動や自分の身体・体力に興味を持たせる。
- ③ 汗を流しながら気持ちを整え、心をみがこうとする子ども  
→ 日々の清掃活動や奉仕的活動を師弟同行で行う。

#### 子どもの確かな学力獲得・定着をめざす授業力の向上

- 自己課題をもち、協働的で深い学びをめざしての日々の授業改善への取り組みや、職員相互のたゆまぬ研修
- CRT、全国学力学習状況調査等の客観的調査による結果の分析、及び児童アンケートの結果に基づいた、効果的な支援・指導の検討と実践

#### すべての子どもの人権と生命を大切に する環境づくり

- 子どもに寄り添い、まるごと受け止める児童理解とそれに基づくあたたかく継続的な支援
- 授業や学習環境のユニバーサルデザイン化
- 計画的な登下校の安全指導、危機管理体制の整備と徹底
- いじめや不登校等の相談できる窓口の設置と丁寧な対応

#### 家庭や地域との積極的な連携・協働

- 家庭・地域に学校を積極的に開放し、三者が一体となってすすめる子どもの支援
- 学校だより・学年/学級だより等による家庭や地域への情報発信
- 学校評価における家庭からの声や思いを尊重しながら検証する学校経営の改善